

市 役所を包む子どもたちの歓声 冬のあったか縁日



子どもや子育て支援をテーマにしたさまざまな催しを一堂に開催する「冬のあったか縁日」が12月11・12日、市役所で行われ、52団体の参加と約4,000人の来場者がありました。

市民・民間団体・行政が協働して運営するイベントは今年で6回目。ダンスやゲーム、食育など49ものプログラムが庁舎内に設けられ、参加した子どもたちの歓声と笑顔に包まれました。

地 域の魅力を再発見 一之宮町で「地域再発見事業」



岐阜女子大学の学生が一之宮町の歴史や文化などを調査する「若者による一之宮地域文化の再発見事業」の説明交流会が12月19日、飛騨位山文化交流館で行われ、70人が参加しました。

この事業は今年度、各支所で地域の魅力を再発見することにより今後の地域づくりに活かすもので、それぞれの支所が趣向を凝らした事業に取り組んでいます。

ぶ り街道の歴史を学ぶ 煥章館で市民講座を開講



富山湾から高山市を経て松本市までブリを運んだ「ぶり街道」について学ぶ市民講座が12月20日、市図書館「煥章館」で開催され、73人が参加しました。

講座では市史編さん員の田中彰^{あきら}さんが「氷見のぶり」と高山の川上肴問屋^{まな}と題して講演し、街道の歴史や食文化などを紹介。年取りを前に参加者はブリにまつわる理解を深めました。

は たちの節目、決意あらたに 各地で「新成人を祝うつどい」



今年は市内で1,004人が成人を迎え、各地域では1月1日から9日までの間、「新成人を祝うつどい」が開催されました。

このつどいは、新成人らで構成する実行委員会が企画から運営まで手がけるもの。どの会場でも合唱やビデオ放映など、さまざまな趣向が凝らされる中、同級生や恩師との再会で和やかなムードに包まれていました。

昼間の緊急情報もしっかりと確実に伝えます。 事業所での申込手続きはお済みですか？ 高山防災ラジオ

- 申込みは最寄りの電機商業組合加盟店で取り扱っています。
- 利用料は月額300円(平成25年3月まで100円を市が助成)です。
- 問合せ先 企画課(☎35-3134)
- 支所地域のご家庭で利用されている戸別受信機は平成23年3月末で利用できなくなります。



中心市街地バスの愛称は 「まちなみバス」に

3月から新たに運行する中心市街地バスの愛称を、昨年12月20日まで募集し374件の応募がありました。

その中から、「中心市街地を走り、古い町並がイメージできて誰にも分かりやすい愛称」として、桑田知子^{ちこ}さん(馬場町2)の作品「まちなみバス」に決定しました。

- 問合せ先 地域政策課 ☎35-3524